時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

帝室の位地(前號の續)

歐洲大陸諸國中には立憲王政國の數甚だ多く國勢民情の如何に因りて其治蹟は一ならざれども伊太利、白耳義等を始め之れに君臨するものは創業者若くは第二三世にして國家統御の日尙ほ淺く王家の基礎も固からざるのみか彼の白耳義國の如き千八百三十年和蘭と戰て獨立したる後、先王レオポルト第一世を白耳曼小邦の中より迎へ立て白耳義國王と爲し今は第二世の治世にして第一世王の賢明なる偏に商工殖產を勸めて國の富源を深くせんことを謀り功績顯著、國人其德を懷はざるに非ざれども當國は境を佛蘭西に接し國中上流社會の人は總べて佛語佛文を用る等の事情よりして佛國共和政治の風は知らず識らず人民の氣性に入り動もすれば之を形跡に現はすが故に王家は人民の歡心を買ふて輿望を繋がんことを勉め時に國王尊嚴の趣を欠くの擧動なきに非ざれども英國は王氣鬱然として國民尊王の心根は由來甚だ深く王家と人民と相待て情愛濃密、和氣靄然、恰も双方を一家として家族團欒の樂あるが如き其中に自から分限を守りて互に勉むる所を勉め其習例の優美にして立憲王政國の模本に供す可きものも少なからず蓋し今の英國女皇がイルサベス女王と相並んで古今の明主と仰がるゝは決して偶然の事に非ず女皇は國內を臨御するに重きを政治の一方のみに置かず文學宗教美術工藝商賈製造慈惠救恤社會交際等を蓋ふて一樣同等に其事を重んじ又其人を尙んで嘗て偏輕偏重の沙汰なく社會一般の事物をして均しく王室の恩露に霑はしむるが故にして初め皇婿アルバート殿下は心を商工美術等に寄せ之を奬勵するの方便として千八百五十一年ハイドパークの萬國大博覽會を開き其結果は南ケンシントンの博物館と爲り工藝科學の奬勵と爲り各製造業の進步と爲り英國全體を益したるは人の能く知る所なり即ち至難の位地に居て國民に愛慕せられたる所以にして爾後アルバート殿下は薨去したれども女皇は殿下と同主義を執りて美術工藝等をも奬勵し從來繪畫彫刻等の士に對して榮爵を與へ謁見を賜ひ或は親から其工場に行幸したる等の例少なからず或は地理探撿の爲め亞弗利加內地に入りたる者、或は多くの危險を冒して南北氷洋に航したる者、凡そ此等學術の爲めに身を犧牲に供せんとしたる者等は或は之を招見し或は其勞を慰めて之を優待することを怠らず又女皇は農事を重んじ禁園中に農園を設けて種々の草木を培養する由にて本年五月の事なりと覺ゆ英國中最も古く發行する農學雜誌記者を召し格別の恩召を以て其縱覽を許し且つ其記事を雜誌紙上に掲載することを許されたり畢竟農事奬勵の盛意に出でたる者にして蓋し異數なりと云ふ扨て又倫敦季節の際は時々延賓館を開きて外國公使政府顯官或は諸華族軍人等を招見するは申す迄もなく貴家の令孃妙年已に二八ともなりて交際社會に出づるの前には先づ侍從長官に向て延賓館謁見の儀を出願し長官之を認可して謁見指令狀を送るときは是れぞ即ち令孃が交際社會の初陣にして禮服盛裝、薔薇或は百合等の花束を胸間に飾りセントゼームス宮、若くはバッキンハム宮へと押し寄せ扨て延賓館に案內せられて女皇に謁見する風采容儀は人の注意する所にして其場所に慣れぬが爲め自然後れを取るものあり或は進退優美にして後來交際社會に出づれば天晴れ鷄中の鶴たる可しとて望を屬せらるゝものもあり何れも社會の談柄にして其評判も面白く交際上に光澤を添へて人情を和らぐるの一端たる可し即ち英國女皇陛下は交際社會の本尊と爲りて其社會の衆生に彼の赫灼たる光明を放ち自然之を愛敬して之を崇拜するの念を起さしむるのみならず又他の社會に對しては貧困を憐み癈疾を傷み或は高齡の翁媼を惠み同時三兒以上を產みたる者は女皇御手許金の中よりして一兒に付き一ギニーを下賜する等の慣例もあり其温潤靈妙の德は圓滿無量、社會の人心を緩和して不平疾惡を融解する其功力不思議なりと云ふ可し凡そ帝室の蓋ふ所は萬物廣大無邊にして政治の如きは一端に過ぎず然るに顧みて我國を見れば或は舊來の流儀に因りて政治以外に大事なきが如く政治家一時の方便とは申しながら凡俗なる政治上の困難を和解せんとするに靈妙なる帝室の御威光を拜借せんとするが如き場合もあるは酷に評すれば帝室をして下界の危機に近つかしむるの姿にして經世家の見るに忍びざる所ならん蓋し我が日本國は彼の英國などに比して舊慣古例互に其趣を異にする者も多からんと雖ども英國は世界各國人が立憲王政の集大成ありと許する國柄なるが故に我輩は今その二三の事例を擧げて彼の國王室の趣向を示し我が尊王忠國の士をして今後帝室と人民との間に種々の新關係新事例を開くに當りて自から擇ぶ所あらしめんことを望み敢て一片の微誠を陳ずるものなり

(完)

官報

〇內務省告示第六十二號

一外政備考　一冊

東京市日本橋區蠣殼町二町目二番地
久米野嘉實發行

右出版物ハ治安ニ妨害アリト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十二年十二月十九日
內務大臣伯爵山縣有朋

〇辭令

農商務四等技師　高山甚太郎

御用有之獨逸國へ被差遣(十二月十六日內閣)

〇鐵道哩數　關西鐵道會社鐵道線路ノ內草津三雲間哩數ハ九哩七十二鎖ニシテ其各停車場名及距離哩數ハ左ノ如シ(鐵道局)

停車場名	距離哩數	停車場名	哩數距離
草津	〇		
石部	五哩四十二鎖	三雲	四哩三十鎖
		合計	九哩七十二鎖

雜報

〇自由黨再興事情一斑(前號の續)

第八　舊友會に對する兩派の感情

板垣伯の會主たる舊友懇親會は其名の如く同伯の舊友即ち舊自由黨員を會して舊情を語るものなるが故に自由黨再興派幷に大同派共に同伯に緣故ある人々は表面上親疎冷熱の感情を異にすべきにあらずと雖も前條に記述したるが如き事の發端より波瀾萬狀幾多の成行を經て舊友會の開設に至りたるものなるを以て兩派の人々が同會に對して互に抱く所の觀念異ならざるを得ず自由黨再興派は同會を視るに猶恰かも自己の運動を爲すべき新舞臺を開くと同樣の觀あるを以て心裏の喜悅自ら外に溢れて意氣得々たるものあれども大同派は然らず同派は已に大同團結を以て一箇の政黨とし已に自己の運動すべき舞臺と信じ居る際に今や此舞臺に不平を抱きて別舞臺を開らき其與行の競爭者たらんとするものあり舊友懇親會なる名稱の下に其開業式を擧げんとて招待を受けたり尋常ならば斷然謝絕すべき所なれども其名を懇親にし其實を開業式にしたる主人は同派が嘗て一方ならざる恩顧を受けたる親方なり情誼上出席せざるも世の評言に顧る所なきにあらず言はゞ痛し痒し內に憤懣無量の慨心ありて外には然る能はざるが如き事情あるものと謂ふ可きか今試みに此兩派が懇親會に對する此等冷熱の感情事實に顯はれし一例を擧ぐれば會の周旋事務に關する事是れなり即ち舊友懇親會は舊友を會して舊情を語るものあるを以て來會の舊友多きを要するが故に最初は右開會の周旋等は在坂の舊友に廣く依賴せんとて所謂再興派の大坂苦樂部と大同派の月曜會とに任すべき都合の處月曜會は之れを謝絕し開會一切の世話は大坂苦樂部にて取扱ふこととありたり大坂苦樂部にも板垣伯の舊友あり月曜會にも舊友あり而して一は之れを謝絕し一は奮發して之れに當れり、當局者は心付かざる可しと雖も局外者は斯る些事に迄冷熱の情を現出せしかと評せざるものなし以て其一斑を推すべし

第九　懇親會の結果を卜知すべき材料事實

偖前條に記述したる所は自由黨の再興に關する原因、發端、波瀾、成行の大略なり之れを一讀せば大坂の舊友會は如何なる結果を來すべきや其大勢已に言はずして明かなる程なれども實際の成行きは事未來に屬するが故に玆に記す可き限りにあらず更らに當日の實況を觀察せし上同會より生せる自由黨再興に關する事柄を詳記すべき積りにして一旦玆に筆を擱するに臨み懇親會の結果如何を更らに明了に卜知し得べき材料を附記すべし右材料の第一は兩新聞の記事是れなり大坂に於ける再興派の機關たる東雲新聞大同派の機關關西日報とは恰かも犬と猿との如く紙上に於て紛爭する其有樣甚しきものあり兩新聞紙面に顯はれたる中其最も甚しきは左の記事なりとす

十二月十四日發兌關西日報寄書欄內に時事雜書と題し

> 前略大公望然たる某翁が胸算全く外れて〇〇は到底望なしとや思ひけん罪を子弟に歸して之れを鳴らし包羞忍恥亦究策なりと觀念し昨今頻りに和議を講し合同を計するにも拘はらず獨り項羽然たる將軍は江東の子弟來らんか、江東の才俊來らんかと胡坐東望唯凍雲の漠々たるを見る耳と與耶、

又同日の東雲新聞漫興の中某記者と題して

> 田舍の村長然たる某記者あり(中略)其筆を揮ふ時は毫端に毒氣を含み人をして端なく聚鬼に魔はるゝの感あらしむ(中略)天晴斯る伎倆ある記者、斯る腕前ある文章家が自由黨萬歲を歡呼せさるは抑も故あり哉、人世寧ろ柳肘蔞牛の人たるも曖昧なる記者陰險なる文章家と爲る勿れ(下略)

兩新聞とも穩かならさる文字と云ふべし、偖又目を轉

して懇親會
るに互に相
樣にわり目
も故らに見
々の宿泊す
屋は大同派
ち試みに其
卯兵衞、同
邊爲造、同
く東區大川
四丁目永井
等は大同派
の客を入れ
ものなく、
髮遂々、眼
紳士、手繩
手に餘る大
て正服、平
云ふ

〇非常報知
年七月以來
巡査派出所
地名を記し
號を印し置
方角を示す
其の計畫中

〇學習院
終期試驗を
し同八日授
する同院は
も隨分大工
やも計られ

〇煙草稅則
を加ふる由
大臣の許へ

〇鈴木四等
一昨十八日
命せられた

〇昇級
て一昨十八

〇屯田兵下
士官數名を
兵の教官に
せしめしよ

〇卒業證書
來る二十五
期初めに於
場して卒業

〇關西鐵道
路中近江國
既に落成し
以て開業の
り伊賀近江
一哩餘の敷
に併せて試
主等凡そ三
賀縣下より
りの來會者

(英量)封度 凡我百二十目
九分
(英尺)呎 凡我一尺〇五厘
碼 凡我三尺〇一分
(佛量)[illegible] 凡我二百六十[illegible]
(佛尺)米突 凡我三尺[illegible]
噸 凡我二百七十貫九百五十目
哩 凡我十四町四十五間一尺

〇新橋橫濱間發車時刻　新橋發午前六時十分、六時四十分、八時、八時三十五分(急行)、九時四十五分(急行)、十時五十分、午後零時五分、一時二十五分、二時三十分、四時、四時四十五分(急行)、六時十五分、六時五十分、八時三十分、九時五十五分、十一時十五分(急行)●橫濱發(新橋に向け)午前六時三十分、[illegible]時二十分、八時三十七分、九時十五分(急行)、十時二十分、十[illegible]時五十分、[illegible]時、三時三十五分、四時三十分(急行)、五時五十分、九時十分、十時五分、十一[illegible]分(急行)

四十分、八時五十分、十一時十五分、午後二時五十分、五時、七時三十分

〇新橋神戸間發車時刻　新橋發午前六時十分(京都止り)、九時四十五分(神戸まで)●靜岡發(下り)午前七時十五分(靜岡止り)、四時四十五分(京都止り)、四時十五分(名古屋止り)、午後二時[illegible]分(名古屋止り)、十時五十九分(神戸迄)、午後零時十九分(京都止り)、四時十[illegible]零時四十五分、五時三十五分、午前七時八分(神戸迄)●上り)午前十時三十分、午後[illegible]●名古屋發(下り)[illegible]

〇上州線[illegible]發車時刻[illegible]一時四十五分、午後[illegible]十分、九時十五分、[illegible]午前六時、十一時五[illegible]

〇仙臺線道　上野[illegible]